年間授業計画　新様式例

高等学校 令和６年度（２学年用） 教科　国語　科目　言語文化

教　科：　国語　　科　目：　言語文化　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　M1 組～　C1 組

教科担当者：（Ｍ１組：小野・松原）（Ｆ１組：小野・青田）（Ｆ２組：小野・青田）（Ｃ１組：小野・松原）（　組：　　）（　組：　　）

使用教科書：（ 第一学習社　高等学校　新編言語文化　　）

教科　国語　　の目標：言語感覚を磨き、知識と教養を身に付け、豊かな感性や情緒を育む。

【 知　識　及　び　技　能 】語句の量を増やし、語彙を豊かにする。

【思考力、判断力、表現力等】作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する方法を学ぶ。

【学びに向かう力、人間性等】作品に書かれている感じ方や考え方から自分自身を見つめ直す手がかりを得る。

科目　言語文化　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
漢字・語句・表現の知識を深め、生活していく上で必要な基本的な知識を身に付ける。	文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などを的確に捉えられる。	課題に対して、主体的に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A　小説を読む(一)『島の少年―船』 【知識及び技能】 ・作品の文化的、風土的背景を理解する。 ・日常生活に活用できる語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自発的に調査し、他者の意見に耳を傾け、主体的に取り組む。	・小説の展開と主人公の心理変化について理解させる。 ・一人１台端末を活用し、作者や舞台となっている瀬戸内海について調べる。 ・作品を通して「働く」ということについて考えを深める。	【知識・技能】 ・作者や作品の文化的、風土的背景を理解している。 【思考・判断・表現】 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する方法を学んでいる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自ら調査し、作者や作品を理解し人間の生き方を考えることができる。	○	○	○	10
	確認テスト①			○	○		1
	B　古文に親しむ『なよ竹のかぐや姫』 【知識及び技能】 ・古文に特徴的な語句をふやし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・現代まで受け継がれる物語を通して古文への親しみを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・物語に積極的に親しみ、伝記性や心情描写の特色を捉える。小説を読む	・歴史的仮名遣いや基本的な古語の意味 ・文学史上の位置と後世への影響 ・登場人物の特徴を捉え、内容の解釈を深める。	【知識・技能】 ・歴史的仮名遣いに留意し音読できる。基本的な古語の意味を理解している。 【思考・判断・表現】 ・登場人物のものの見方、考え方を捉え内容の解釈を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・生徒自身が古典の継承者であることを理解し、学習に取り組んでいる。	○	○	○	10
	確認テスト②			○	○		1
2学期	C　物語を楽しむ『伊勢物語（筒井筒）』 【知識及び技能】 ・『伊勢物語』の概要を理解する。 ・和歌の表現技法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・登場人物の心情の変化を正確に読み取る。 ・対比的に描かれた人物の態度や行為を比較して整理する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで作品の背景となる当時の文化を知り、読解に取り組む。	・登場人物の関係を整理する。 ・和歌に込められた心情を理解させる。 ・男の気持ちの変化と女の態度をまとめさせる。 ・もとの女と河内の女とを比較して『伊勢物語』が理想とする美意識について、話し合う。	【知識・技能】 ・『伊勢物語』のがいようについて理解している。 ・和歌の表現技法について理解している。 【思考・判断・表現】 ・登場人物の心情の変化を正確に読み取っている。 ・対比的に描かれた人物の態度や行為を比較して整理できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・進んで作品の背景となる当時の文化を知り、読解に取り組んでいる。	○	○	○	10
	確認テスト③			○	○		1
	D　小説を読む『羅生門』 【知識及び技能】 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 ・学習の振り返りに主体的に取り組む。	・通読の過程でわかりにくい語句を確認する。 ・小説の舞台を把握し、下人の状況と心理を理解させる。 ・下人の心理が刻々と変化していく様子を理解させる。 ・下人が老婆の弁解を利用し「盗人になる勇気」を得るプロセスを理解させる。	【知識・技能】 ・語彙を増やし、常用漢字を文や文章の中で活用することができる。 【思考・判断・表現】 ・登場人物のものの見方、考え方を捉え内容の解釈を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習の振り返りに主体的に取り組んでいる。。	○	○	○	25
	確認テスト④			○	○		1
3学期	E　故事成語「矛盾」「狐借虎威」 【知識及び技能】 ・訓読のきまりを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・寓話の内容を理解し、現在使われている言葉が漢文に由来することを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで寓話の特徴を理解し、学習の見通しを持って言葉の調査に取り組む。	・範読、音読指名読み。 ・訓読の決まりを理解させる。 ・作者のものの見方、感じ方、考え方を理解させる。	【知識・技能】 ・訓読の決まりを理解し、音読することができる。 【思考・判断・表現】 ・寓話の内容を理解し、現在使われている言葉が漢文に由来することを理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・寓話の特徴を理解し、学習の見通しを持って言葉の調査に取り組んでいる。。	○	○	○	10
	確認テスト⑤			○	○		1
							合計 70